

総合計画基本構想(素案) 前期実行計画(素案) 意見募集の結果

平成24年2月1日～20日に実施した、第5次弟子屈町総合計画基本構想(素案)・前期実行計画(素案)に対する意見募集について、3件の応募があり、13項目の意見が寄せられました。

内容は、全体に対するものが1件、人と自然が共生するまちづくりに対するものが7件、誰もが安心して暮らせるまちづくりに対するものが5件でした。

寄せられた意見と回答を掲載します。

※お寄せいただいた意見は、主旨が変わらない範囲で添削しています。なお、町ホームページには全文を掲載しています。

1 弟子屈町の美しい自然景観は、わが国を代表する自然景観として認められ、国立公園として指定されていることから「自然環境の保全と活用」の現状と課題にその旨を記載してほしい。

▼(回答)
自然景観の現状について、国立公園指定に関する内容が必要と判断しましたので、ご指摘のとおり記載します。

2 保全と活用に境界はなく、調和を図りながら一体的に進めるものであることから「守る自然と活用する自然との調和」の施策の目的・方針の「曖昧になりがちであった、自然環境の『保全』と『活用』の境界線を明確にするため」の部分修正してほしい。

▼(回答)

ご指摘のとおり、保全と活用は一体的に進める必要がありますが、「保全と活用の境界線」はあたかも開発を容認するような誤解を与える表記であるため「曖昧になりがちであった、自然環境の『保全』と『活用』のゾーンを明確にするため」と修正し「線」から「面」のイメージに変更します。

3 「守る自然と活用する自然との調和」の施策メニューにある保護と活用を目的としたゾーニングに関して、国立公園計画におけるゾーニングとの調和を図るよう施策の実行に努めてほしい。

▼(回答)

今後、ゾーニングを構築する際は、ご意見にありました国立公園計画におけるゾーニングを含め、関係法令や各種計画などと十分に調和を図るとともに、住民、関

係機関(者)などの参画を得ながら進めていきます。

4 「守る自然と活用する自然との調和」の施策メニューに「エコツーリズムの推進」を追加してほしい。

▼(回答)

本町の優れた自然環境の保全と活用の調和を図る上では「エコツーリズムの推進」は重要と判断しましたので、ご指摘のとおり項目を追加します。

5 「守る自然と活用する自然との調和」の施策メニューに「生物の多様性の保全および持続可能な活用」を追加してほしい。

▼(回答)

ご意見いただきました「生物の多様性の保全及び持続可能な活用」については「守る自然と活用する自然との調和」の施策メニュー

にある「野生動植物対策」において推進していきます。

6 「統一感を持った全体風景指針づくり」について、景観施策には国立公園における自然風景との調和が必要であるため「景観法及び北海道景観条例に則した景観施策」の部分「景観法及び北海道景観条例等関連する法令に則した景観施策」に修正してほしい。

▼(回答)

関係法令を再確認した結果、ご指摘のとおり修正します。

7 「景勝地の保全と整備」に「自然公園整備計画」とあるが「阿寒国立公園計画における施設計画」の間違いだと思われるので修正してほしい。

▼(回答)

調査の結果、記載誤りでしたので、ご指摘のとおり修正します。



まちづくりと一体となった川づくりを

10 「防災対策の推進」について、雪害、水害などの対策を考慮して記載してはどうか。

▼(回答)

防災対策を推進する上で、雪害、水害などの防災についても考

8 釧路川が平成24年2月15日に「かわまちづくり」に登録され、まちづくりと一体となったかわまちづくりの河川景観は快適な市街地形成に寄与すると考えられるため「魅力的で暮らしやすい街並み形成」に「釧路川の整備と連携した『かわまちづくり』の推進」の文言を追加してほしい。

▼(回答)

市街地を流れる釧路川の景観は「魅力的で暮らしやすい街並み形成」にあたり重要な位置付けだと判断しましたので、ご指摘のとおり修正します。

▼(回答)

災害対策を推進する上で、火山災害についても考慮すべきと判断しましたので、ご指摘のとおり修正します。

▼(回答)

11 「防災対策の推進」の施策の主な内容について、災害対策における隣接自治体などとの広域協力体制の構築について検討が必要と思われることから、その旨を追加してはどうか。

▼(回答)

防災対策を推進する上で、隣接自治体などとの広域連携は考慮すべきと判断しましたので、ご指摘のとおり項目を追加するとともに、広域協力体制の構築の検討を進めていきます。



洪水ハザードマップで水害への備えを確認

12 「治山・治水対策の推進」にある「釧路川の環境整備については、治水上の安全と親水性に十分配慮した整備を必要に応じ要望していきます。」を「釧路川について、治

▼(回答)

防災対策を推進する上で、隣接自治体などとの広域連携は考慮すべきと判断しましたので、ご指摘のとおり項目を追加するとともに、広域協力体制の構築の検討を進めていきます。

▼(回答)

ご指摘のとおり修正します。

13 現代は「リスクを取らないことがリスクになる」時代です。小手先での改革、施策では、大変化してゆく時代の潮流に取り残されて町は衰退の一途をたどってゆくことは明らかです。しかるに、今回の総合計画を観て感じることは、まずもって残念ながら失望を禁じ得ません。実行計画や重点プロジェクトにしても、掲げているその目標、理念、想いは大変素晴らしい立派でかつ必要、重要なことばかりでよいのですが、それをどう実績あるものにしてゆくかの具体的施策、イメージが見えてきません。これで、本当に実績が挙がってゆくか疑問を抱かざるを得ません。

もし、具体施策はこれから考えるというのであれば、いかにも遅過ぎます。どうぞ企画、立案を提示いただき、実行に移してほしいと切に願います。そこで、以下に私案として提案させていただきます。ぜひ実行してほしいと願っています。

▽提案1 最重要施策を10～20

町民の皆さんが町内で宿泊すると2,000円が助成されます 町民等宿泊促進支援事業のお知らせ

平成22年度からスタートした町民等宿泊支援事業を、今年度も実施します。この事業は、対象となる町民の方などが下記の宿泊施設に宿泊する際、1人2,000円の助成が受けられるというものです。

昨年度から「町民の方」や「ふる里会会員」だけではなく「『町民の方』『ふる里会会員』と一緒に宿泊される町外の親戚の方なども利用できるよう対象を拡大していますので、ぜひご利用ください。助成対象は次の方です。

▶個人

- 町民の方(本町に住民登録をしている方)
- ふる里会会員(弟子屈ふる里会会員、札幌弟子屈会会員)
- 町民の方やふる里会会員と一緒に宿泊する町外の親戚の方

※町外の友人・知人は、助成の対象とはなりません。

▶団体

- 町内の会社や事業所、事務局が町内にあるサークル(自治会や老人会など)
- クラス会

※どちらも、宿泊される方の中に町民の方やふる里会会員が含まれることが必要です。

この事業は、皆さんに納めていただいた税金で運営しているため、助成対象を上記のとおり限定しています。

事業に参加している宿泊施設

弟子屈地区

アリスガーデン ☎482-7585
うさの森 ☎482-4672
温泉民宿 北の大地 ☎482-4937
温泉民宿 美里 ☎482-1020
きらの宿 すばる ☎482-2224
ゲストハウスゆうあん ☎482-2977
スローライフ ☎482-6036
ひとつぶの麦 ☎482-1177
ピュアフィールド風囃日 ☎482-7111
ペンション ニューマリモ ☎482-2414
ペンション ぼらりす ☎482-2622
ペンション&コンドミニアムBIRAO ☎482-2979
ホテルニュー子宝 ☎482-2131
ホテル摩周 ☎482-2141
摩周湖ユース・ホステル ☎482-3098
民宿ましゅまる ☎482-2027

川湯地区

お宿 欣喜湯 ☎483-2211
温泉浪漫の宿 湯の閣 ☎483-2011
川湯観光ホテル ☎483-2121

川湯第一ホテル 忍冬 ☎483-2411
屈斜路湖荘 ☎483-2545
屈斜路湖仁伏保養所 ☎483-3058
屈斜路湖ホテル ☎483-2415
KKRかわゆ ☎483-2643
コテージ ログハウス川湯 ☎483-2544
旅・人・宿 あさ寝坊 ☎483-2725
ホテル 開紘 ☎483-2318
ホテル川湯パーク ☎483-2611
ホテル パークウェイ ☎483-2616
御園ホテル ☎483-2511
名湯の森ホテルきたふくろう ☎483-2960

屈斜路地区

Atreyu(アトレユ) ☎484-2455
ガストホフ ぱぴりお ☎484-2201
屈斜路原野ユースゲストハウス ☎484-2609
屈斜路プリンスホテル ☎484-2111
ゲストハウス ていんくる ☎484-2122
コタン温泉 プチホテル丸木舟 ☎484-2644
民宿 三香温泉 ☎484-2140
ペンション クッシュアレラ ☎484-3232
ペンション チャトラン ☎484-2024

問い合わせ先／役場観光商工課観光商工係☎482-2940(課直通)



滞在型観光への仕掛けを

- ①健康快復、向上のための運動ができる事業の実施
- ②子育て支援の増設など少子化対策の実施
- ③シェアハウスなど一人暮らし高齢者用の共同住宅の提供、または事業実施の支援
- ④農業立国の担い手の1つの町を創る施策の実施
- ⑤着地型・滞在型観光の仕掛け、メニューを確立、実行して、

- ▽提案4 最重要施策の具体案の提案
- ▽提案2 決めた施策の達成年を決め、実行してゆく。
- ▽提案3 最重要施策決定のポイント
- 町民の理解・賛同が得られ、それを実行することで町民を巻きこみ、行政と一体となつて意識が変わつてゆくような、目に見える仕掛けが不可欠です。

- 大幅に観光客を増やす。
- ▽提案5 最重要施策・立案・計画の具体例の参考資料
- 全国には町おこし、雇用創出などの実施例がたくさんあります。私が知り、学んだ例を下記に参考までに例挙してみしました。具体策の1つの参考になれば幸いです。
- ※以下割愛

▼(回答)

総合計画については、10年後の町の方向性を大きく示している上、全ての施策について網羅していることから、概念的な表現が多くなっています。そのため、今回策定した実行計画には新たに成果指標を設定し、それぞれの目標の達成度を計る物差しとして活用していきます。また、各施策を実現するための具体的な手段や手法となる事務事業計画(行政が日常行う業務や事業の計画)については、毎年見直しをかけながら、基本目標の達成に向け取り組んでいきますのでご理解いただきたいと思っています。

なお、今回ご意見をいただいた各提案については、次のとおり回答します。

▽提案1について

最重要施策については、地域活性化、人材育成、定住対策の3つを重点プロジェクト

として明記しており、それらを実現するために30項目以上の施策を設定しています。重点項目数については議論のあるところですが、目的を明確にするため本計画では3項目としていますので、ご理解いただきたいと思っています。

▽提案2について

今回策定した基本構想は、10年後の町の目指すべき方向性や目標を設定しています。が、基本構想の一般的な設定年限は8〜12年程度となっています。これは、長期間の構想では、その後の社会情勢の動向や法律の改正、人々の考え方の変化などに対応できなくなることが予想されるからです。なお、実行計画については、以前の計画では基本構想に合わせて10年間で設定していましたが、今回からは前期、後期の5年単位とし、前期計画が終了する際には検証や見直しを行い、後期計画に反映することとしています。また、各施策を実現するための具体的な手段や手法となる事務事業計画については、3年計画で作成し毎年見直しをすることとなっていますのでご理解いただきたいと思っています。

▽提案3について

今回の計画は重点プロジェクトにもあるように、人材育成に対する項目を各分野に多く設けています。基本手段の5にもあるようにさまざまな人々や団体、事業所などが互いに交流、連携しながら、コミュニケーションを深める場づくりに取り組んでいます。

また、行政としても積極的な情報発信に努めるとともに、皆さんからのご意見を反映しながら、ご理解・ご賛同いただけるよう取り組んでいきますので、ご理解いただきたいと思います。

▽提案4・5について

ご提案いただいた各項目については、貴重なご意見として伺い、今後の業務の参考となるよう各担当する課と共有していきますので、ご理解いただきたいと思います。

なお、提案5でご提示いただいた参考図書、本、テレビ番組については、短期間に内容などの確認ができないため、表記については割愛しています。

□問い合わせ先／役場企画財政課企画係☎482・2913(課直通)まで。